

犬山市 フューチャーセッション SEASON 2

FUTURE SESSION @INUYAMA



犬山市フューチャーセッション 2018～ >>> 集まったメンバーが立場を超えて自由に語り合い、対話から価値を生み出す「創造的な語り場」。今年度は、レギュラーセッションに加え、キャンプ、アウトリーチ、ビジネスコラボなど、参加者といっしょに企画しながら様々な試行に挑戦します！

ゲストトーク

5

プログラム

1. ゲストトーク
2. 対話カフェ（意見交換）
3. グループトーク
[FS@犬山発 START UP PROJECT]
4. 発表

今年度5回目の「フューチャーセッション（以下FS）」は、ゲストスピーカーに「特定非営利活動法人 起業支援ネット」代表理事久野美奈子さんをお招きしてのトーク&セッション。参加者は13人でした。

前半は、「身の丈起業のススメ」をテーマに久野さんのお話を聞いたあと、意見交換。

後半は、1人ひとりが、「自分がやりたいこと」と「できること」を考えたあと、グループに分かれて犬山のまちをもっと元気にワクワクさせるビジネス（事業）を考えました。

1 ゲストトーク 「身の丈起業のススメ」

「特定非営利活動法人 起業支援ネット」代表理事 久野美奈子さん

「仕事をおこす・自分をおこす・地域をおこす」を応援

私達が応援したい「起業」は、ただ会社を創るだけでなく、今まで世の中になかったことを「おこす」とか、一人ひとりが持っているものを「おこす」とか、地域を「おこす」ことをひっくるめた「起業」。1人ひとりが自分の「身の丈」を最大限に使った事業を応援していきたいなと思っている団体です。

ボランティアな活動だとしても、喜びや豊かさが循環していれば、それも「起業」と呼ぶ感受性がこれからは必要なのでは？と感じていて、起業支援を通して、ひとり一人が持っている物語が世の中に発信されたり、新しい意味を持ったり、価値が生まれたり、ということを応援したいと思っています。

「起業の学校」は、「命の使い方を学ぶ」場所

「起業の学校」は、2004年に開校してから14年。一番力を入れているのは「理念をつくる」ことです。けっこうゴリゴリやっている（笑）。でも、結局生徒さんに残るのは、そこなん

だなんて思います。

パンフレットには、サブタイトルとして「命の使い方を学ぶ場所」と書かせていただいています。誰のために何のために、どんな未来のために命を使うのかを考える場。自分ひとりで、自分が何を本当にやりたいのか考えるのは結構しんどいので、仲間がいたり、誰かと意見を交わし合ったりしながら、自分が何者かを考えていく場が作りたくらいと思ってやっています。

「本当は何がやりたいかわからないけど、できることで貢献します」というのは、チームの中の役割分担としてやるのなら良いけど、起業する場合、自分の中の原動力、内発性は自分で燃やし続けるしかないもので、「できるけど魂が喜ばないこと」は勇気を持って封印した方がいいと思います。



「身の丈の起業」

「身の丈」ということを、私達は大事にしています。「身の丈」と言うと「小さいサイズ」と思われるかもしれませんが、社員の数や売り上げのことを言うのではなく、自分やチームの良さが最も活かされるサイズが「身の丈」。だから「身の丈」は、いろんな経験を重ねると伸びていくと思います。チームのバランスを維持できる、責任を取ることができる、自分やチームにストレスが係りすぎない、目指すものが一致できるサイズを意識するといいかかなと思うんです。

「理念」は、ふんわりした良さそうなことより、自分の礎（いしずえ）になるものにするのが大事。理念がぶれるとコントロールできなくなる、身の丈を超える原因になりやすいので、理念が大事だということを言い続けたいと思います。

「起業の学校」は完全自主事業

「起業の学校」は、補助金や委託を受けず受講料だけでやっています。10か月間、月に2回ほどで19万2千円。けっこうな値段。NPOでそんな取るのかと言われ続けて14年（笑）。誰からお金をいただくかは、けっこう大事。委託だと、委託元の意向があり、私達の意思があり、生徒さんのニーズがあって、必ずしも一致するとは限らない。生徒さんからお金をいただいているだけだと、委託元の意向に縛られずに、生徒さんのためだけにやれる。自由。委託とか補助をいただきながらパートナーシップを組んで広く展開していくものもあっていいけれど、そのバランスが大事じゃないかと思っています。



2 対話カフェ（意見交換）

参加者1: 今の会社に入って30年くらい経つんですが、将来的に手に職を持っていないといけなかなと思ってマッサージを勉強していて、いずれ起業というか、何かできたらいいなと思っています。今日お話を聞いて、下準備は大事だなと。下準備をしっかりして、想定して、自分が何を犠牲にできるのか、考えてから行動した方がいいのかなと思いました。

参加者2: お話を聞いていて、自分が起業をした時のワクワクした時の気持ちを思い出しました。先がどうなるかわからないけど飛び込むというのは、すごくテンションが上がった。その後、めちゃくちゃ苦しかった時期もあったんですが、今思うとその時も楽しかった。また次の山を目指したくなりました。

参加者3: どんなことに命を使いたい。やっぱりそこなのかなと思いました。改めて自分に、何がしたいのかを問い直したい。起業しなくても、自分の一秒一秒の命をどう使っていくかを改めて考えさせられました。

久野さん: 失敗しないと分からないこともあるので、がんばってみて違えば、こっちかな、ということの繰り返しだと思います。でも、ぐるぐる回っているようで螺旋階段になって上がっていると思います。まあポチポチと（笑）。



3 グループトーク「FS@犬山発 START UP PROJECT」

1人ひとり、自分がやりたいこと・できることを考えたあと、グループに分かれて、犬山のまちをもっと元気にワクワクさせるビジネス（事業）について考えました。



犬山のさらなる魅力の発信 (株) Dog Mountain Castle

- ①いぬやまドッグ
(パンを骨の形にしたホットドッグ)
- ②犬山城バーガー
(パンに城と成瀬家の焼き印)
- ③犬山うかいサンド
(鮎を開いてカツにしてはさむ)

チャレンジを経験から応援する

- ・まずは初めの一步を踏み出せる舞台を貸し出します。
- ・様々な分野の経験者・専門家のアドバイス、うんちく、仲間達の励ましを受けられます。
- ・チャンスはどう活かすか、あなた次第！



犬山市役所 地域安全課 (担当: 田原)
☎ 0568-44-0346
Mail: 010400@city.inuyama.lg.jp